

挨拶

会 長
柵 山 正 樹



皆様、こんにちは。本日より2年間、日本知的財産協会の会長を務めさせていただくことになりました三菱電機の柵山でございます。どうぞよろしくお願いたします。まず、先ほどのJAXA 館先生の示唆に富むご講演、誠にありがとうございました。ご講演を通じて、地球上に住んでいてよかった、宇宙ではとても暮らせないんだなということ、人工衛星が教えてくれる地球保護の大切さをひしひしと感ずることができました。この場をかりて、先生に感謝申し上げます。

また、佐藤会長殿をはじめ、今回ご退任される役員の皆様におかれましては、これまでの知財協へのご尽力に対し、心よりお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、今年5月から令和の時代が始まっております。知財協の会員企業の皆様も、新たな気持ちで令和の新時代を迎えられたことと存じます。平成30年間の時代を振り返らせていただきますと、経済的には、極めて激動の時代であったかと思えます。「失われた20年」などと、やや経済停滞の側面が言われるところでございますが、知的財産立国を目指して、国を挙げて知的財産戦略を推進した我々にとっては、むしろアクティブな時代であったと感じています。

また、技術面におきましては、「第4次産業革命」という言葉であらわされるように、IoT、AI、ビッグデータなど、ICT技術の進展は目覚ましいものがありました。つまり、『全てのものがつながる』という世界が到来し、貿易や投資がさらにグローバルに進展する国際競争の時代となりました。

日本企業の事業モデルも大きく変革し始めているように感じます。若干、データを引用させていただきます。2018年にダイヤモンド社が発行した企業の時価総額のデータに拠れば、平成30年の時価総額ランキングのトップファイブは、いわゆるGAFAsの4社、加えてもう1社はマイクロソフトでした。日本においては、このようなITプラットフォーマーはまだ出ておりませんが、同じ事業モデルをまねる必要は全くなく、日本企業は、製造業あるいはサービス業の強みである高度なものづくりや高い信頼性を強く意識して、優れたイノベーション企業を目指すべきだと考えています。それゆえ、その源泉ともいべき知的財産の重要性は著しく高まっております。我々も、知的財産を産業競争力強化のツールとしてさらに活用し、積極的に経営戦略の中に取り入れていくべきだと思います。そして、そのためには、すぐれた知的財産活動を実践できる人材を育成し、組織のダイバーシティを高めることも重要です。

知財協は、この両方を担うことができる組織であると確信しておるところでございます。

若干、政府への働きかけについて申し上げたいと思います。知財協は、5月10日現在で、正会員974、賛助会員352を合わせて1,326の会員数を誇る、世界最大の知的財産ユーザー団体です。知財協では、組織力や知的財産に関する高度な専門集団であることを活かし、これまでも時代に即した知的財産戦略や情報を発信してまいりました。まさにスローガンである「世界から期待され、世界をリードするJIPA」の存在意義となっているところだと思います。折しも、昨年からの熱心に議論が続いていた「特許法等の一部を改正する法律案」が今国会で成立し、5月17日に公布されました。この法改正では、特許権の侵害に係る損害賠償算定方法の見直しとともに、意匠法ではその保護対象が大きく拡充されるなど、いわば大改正で、知財協からもさまざまな形で意見発信を行い、産業界からの意見を反映した議論がなされたと聞いております。このような役割は、当協会に期待される重要な活動の一つであり、今後も強化していきたいと思っています。

また、知財協の研修プログラムを、年間1万5,000人を超える方々が活用されています。出願権利化や知的財産訴訟に関する基本的な研修プログラムはもちろんのこと、知的財産のAI活用あるいは知的財産戦略など、時流に合わせた多様な研修プログラムを提供しているところです。知財協は人材育成のため、これら研修プログラムのさらなる拡充を進めてまいります。

結びにあたり、令和の時代になりましても少子高齢化あるいは環境エネルギー問題など、依然として我が国を取り巻く課題は山積しています。新たな価値を創造するイノベーションこそが、この解決の鍵ということは間違いありません。その中で知的財産が果たす役割は、従来からの産業財産権の保護とともに、営業秘密や契約力といった領域まで拡大してきております。今後も知財協は、日本の知的財産をリードする中心的な存在となって、会員企業の経営に資する活動を全力で進めてまいりますので、会員の皆様におかれましては、引き続き、当協会にご協力、ご支援賜りますようお願い申し上げます。会長就任のご挨拶とさせていただきます。

ご清聴、ありがとうございました。